令和８年度

阿武隈土地改良調査管理事務所
庁舎等照明器具改修工事

特別仕様書

東北農政局
阿武隈土地改良調査管理事務所

第１章　総 則

阿武隈土地改良調査管理事務所庁舎等照明器具改修工事の施工に当たっては、 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」（以下「標準仕様書」という。）及び同「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）」（以下「改修標準仕様書」という。）に基づいて実施する。

標準仕様書及び改修標準仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第２章　工事内容

１．目的

本工事は、阿武隈土地改良調査管理事務所庁舎等（１階、２階、外倉庫等）の照明設備について、改修工事を行うものである。

２．工事場所

福島県福島市笹谷字稲場３８－７

３．工事概要

本工事の概要は次のとおりである。

（１）阿武隈土地改良調査管理事務所　１階　照明器具改修

１）　既設照明器具撤去　65 台

２）　ＬＥＤ照明器具設置　65 台

（２）阿武隈土地改良調査管理事務所　２階　照明器具改修

１）　既設照明器具撤去　46 台

２）　ＬＥＤ照明器具設置　46 台

（３）阿武隈土地改良調査管理事務所　外倉庫等　照明器具改修

１）　既設照明器具撤去　14 台

２）　ＬＥＤ照明器具設置　14 台

（４）産業廃棄物処理　１式

４．工事数量

別紙工事数量表のとおりである。

第３章　施工条件

１．工事期間

本工事の作業着手は速やかに行うものとし、その詳細については監督職員と打合せするものとする。

２．工事を施工しない日及び工事を施工しない時間帯

（１）工事を施工しない日　発注者と受注者の間で協議の上、別に定める。

（２）工事を施工しない時間帯　原則、平日の午後５時から午前８時まで。ただし、発注者と受注者の間で協議の上、別に定める場合はこの限りで無い。

３．工程制限

阿武隈土地改良調査管理事務所１階の施工については、休日施工を想定しているが、平日施工も可能であることから、監督員と協議するものとする。

また、阿武隈土地改良調査管理事務所２階及び外倉庫等の施工については、平日施工を想定している。

４．工事用電力及び用水

本工事に必要な電力及び用水は、受注者の負担とする。

第４章　工事用材料

１．見本又は資料提出

本工事で使用する工事用材料は、別紙工事数量表に示す規格以上のものとし、使用前に試験成績書、品質証明書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

第５章　施工

１．一般事項

（１） 施工に先立ち、工事工程表及びその補足として週間工程表を作成し、監督職員に提出するものとする。

（２） 施工に先立ち、作業日毎に入場作業員名簿及び庁舎敷地に駐車する車両番号と台数を、監督職員に提出するものとする。なお、極力減車に協力するものとする。

（３） 作業実施に当たっては、必要な養生を行うものとする。また、庁舎内の作業終了後は、その都度清掃及び後片付けを行い、通常の勤務に支障のないようにするものとする。

（４） 工事施工に当たっては、庁舎施設・備品等に損傷を与えないよう十分注意するものとする。なお、損傷を与えた場合は受注者の責により、速やかに復旧するものとする。

（５） 施工前、施工後で分電盤の分岐回路ごとに施工前後の絶縁抵抗を測定し、施工によって絶縁劣化のないことを確認し、監督職員に書面にて報告するものとする。

（６） 導入施設内で照明器具の配線等に不具合が確認された箇所については、監督職員と対応について協議するものとする。

（７） 既設照明器具の撤去にあたり、PCB 使用安定器の有無を確認する調査を行い、監督職員に報告するものとする。なお、PCB 使用安定器が確認された場合の処理については、監督職員と協議するものとする。

（８） 本工事の施工上の収まり又は取り合い等の関係で、工法等を変更する必要が生じた場合は、事前に監督職員と協議するものとする。

（９） 公共道路の使用に当たっては、地域住民及び一般車両の通行を優先し、通行に支障を及ぼさないよう受注者において事故防止に努めなければならない。

また、善良な道路使用にも関わらず路面等の補修が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

なお、受注者の責により当該道路に損傷を与えた場合は、速やかに関係者と協議の上、受注者の責任により復旧するものとする。

(10)　工事用車両による公共道路の路面汚濁の防止及び、路面清掃等の維持管理を行うものとする。

(11)　工事車両の運行に当たっては、通学時間帯に配慮して行うものとする。

(12)　工事車両の庁舎敷地内資機材搬入出時等の走行に当たっては､職員等との交通事故の防止に努めなければならない。

(13)　工事施工に当たっては、騒音、振動、粉塵等の対策について十分に配慮し、職員等との協調を図り、工事の円滑な進捗と事故防止に努めなければならない。

2．建設資材廃棄物等の搬出

工事施工に伴う建設資材廃棄物は、関係法令に従い適切に搬出処理するものとするが、これによりがたい場合は、監督職員と協議するものとする。

建設資材 廃 棄 物	処　理 施設名	住 所	受け入れ 時　間	事業区分
混合がら	恵和興業㈱	福島市荒井字北一の坂 3-1	午前８時 30 分 ～ 午後４時	中間処分
蛍光管 直管	㈱白川商店	郡山市田村町下行合字田ノ保下 1-23	午前８時 15 分 ～ 午後４時 45 分	中間処分
蛍光管 直管以外	㈱白川商店	郡山市田村町下行合字田ノ保下 1-23	午前８時 15 分 ～ 午後４時 45 分	中間処分

3．特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

	工　　程	作 業 内 容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体等の方法	①造成等	造成等の工事 □有　　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 □有　　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③上部構造物・外装	上部構造物・外装の工事 □有　　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④屋根	屋根の工事 □有　　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 ■有　　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑥その他 (　　)	その他の工事 □有　　□無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

第６章　工事現場管理

１．主任技術者の資格

主任技術者の資格は、１級電気工事施工管理技士又は２級電気工事施工管理技士若しくは同等以上の能力を有するものとする。

なお、資格及び能力等を証明する資料は、監督職員に提出するものとする。

２．施工管理及び品質管理

施工管理及び品質管理は、標準仕様書第１編第１章第３節及び改修標準仕様書第１編第１章第３節によるものとする。

第７章　条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

１．施工上の収まり又は取り合い等の関係で工法等に変更が生じた場合
２．工程制限の休日作業と平日作業に変更が生じた場合
３．建設資材廃棄物等の搬出場所及び数量等に変更が生じた場合(受注者の責によらない)
４．交通誘導警備員Ｂを配置する必要が生じた場合
５．工事数量の精査により変更が生じた場合
６．熱中症対策に係る費用の変更が生じた場合
７．現場環境(快適トイレ)の整備について、発注者及び受注者協議の上、整備に必要な費用の変更が生じた場合
８．女性も働きやすい現場環境(トイレ・更衣室)の整備について、発注者及び受注者協議の上、整備に必要な費用の変更が生じた場合
９．設計変更に必要な調査､設計､図面作成､数量算出を監督職員が指示した場合
10．第三者との協議により変更が生じた場合
11．その他発注者及び受注者協議の上、必要と認めた場合

第８章　その他

１．電子納品

工事完成図書は、標準仕様書第１編第１章第７節に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

・工事完成時の提出図書の電子媒体（ＣＤ－Ｒ若しくはＤＶＤ－Ｒ）　正副２部
・工事完成時の提出図書　１部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

２．週休２日による施工

週休２日による履行実績取組証明書の発行

（１）本工事は、週休２日制工事の促進における履行実績取組証明書（以下「履行実績取組証明書」という。）の発行を行う工事である。

（２）「週休２日」とは、対象期間を通じた現場閉所の日数が、４週８休以上となることをいい、対象期間内の現場閉所日数の割合が 28.5%（８日／28 日）以上の水準に達する状態をいう。

なお、ここでいう対象期間、現場閉所等の具体的な内容は次のとおりである。

①対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、対象期間において、年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として 12 月 29 日から１月３日までの６日間、８月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の３

日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、余裕期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

②現場閉所とは、現場事務所等での事務作業を含め、１日を通して現場作業が行われない状態をいう。ただし、現場安全点検や巡視作業等、現場管理上必要な作業を行うことは可とする。

③降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

（３）週休２日（４週８休以上）の実施の確認方法は、次によるものとする。
受注者は、工事完成までに監督職員へ取組実績を報告する。報告は、現場閉所実績が記載された日報、工程表等により行うものとする。

（４）監督職員は、受注者からの報告により現場閉所状況が４週８休以上（現場閉所率28.5%（８日／28 日）以上）と確認した場合は、履行実績取組証明書を発行するものとする。

３．熱中症対策に係る費用の計上

本工事は、次の熱中症対策を実施する場合については、受発注者間で必要な設置期間等を協議のうえ、設計変更により対応する試行工事である。

（１）遮光ネット（足場に設置するものに限る）
（２）ドライミスト
（３）暑さ指数（ＷＢＧＴ値）の計測装置

４．現場環境の改善の試行

本工事は、現場環境及び女性も働きやすい現場環境の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

なお、トイレは男女別トイレを基本とし、次の設備・機能を満たすものとする。

（１）洋式便座
（２）簡易水洗
（３）臭い逆流防止機能(フラッパー機能)
（４）容易に開かない施錠機能(二重ロック等)
（５）照明設備(電源がなくても良いもの)
（６）付属設備(衣装掛け等のフック付き又は荷物置き場・鏡・手洗いの機能)

第９章　定めなき事項

この仕様書に定めない事項又は本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙

工 事 数 量 表

工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規　　格	単位	数　　量	備　　考
1．直接工事費				
（1）庁舎１階照明器具改修工事				
1）仮設工事				
養生（内部改修）	RC　SRC造　事務所ビル	m2	97.5	
内部足場（脚立足場）	1800mm級　階高4m以下　2箇月	m2	65.0	
2）電灯設備新設				
ＬＥＤ照明器具　A	LED31.9W　埋込型　40形　下面開放　W300	台	34.0	埋込XFX450VENLE9同等品
ＬＥＤ照明器具　B	LED16.3W　埋込型　40形　下面開放　W190	台	8.0	埋込XFX420RENLE9同等品
ＬＥＤ照明器具　C	LED16.3W　直付型　40形　W150	台	1.0	公共施設型番：LSS9-4-23
ＬＥＤ照明器具　E	LED62.5W　直付型　110形　W230	台	1.0	直付XLX800DENCLE2同等品
ＬＥＤ照明器具　G	LED11.6W　埋込型20形　下面開放　W300	台	7.0	埋込XFX210VENLE9同等品
ＬＥＤ照明器具　J	LED38W　埋込型　ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ(乳白)　□450	台	4.0	埋込XL574PFVKLA9同等品
ＬＥＤ照明器具　K	LED34W　埋込型　ｽｸｴｱ乳白ﾊﾟﾈﾙ　□450	台	1.0	公共施設型番：LRS9-4-45
ＬＥＤ照明器具　M	LED17W　埋込型　ｱｸﾘﾙ(乳白ﾊﾟﾈﾙ)　□275	台	1.0	埋込XL553PHVKLE9同等品
ＬＥＤ照明器具　O	LED5W　ﾌﾞﾗｹｯﾄ　□110	台	2.0	XLGB82802CE1同等品
ＬＥＤ照明器具　P	LED12W　ｷｯﾁﾝﾗｲﾄ　20形　ﾌﾟﾙｽｲｯﾁ付	台	1.0	LGB85031LE1同等品
ＬＥＤ照明器具　R	LED6.1W　ﾌﾞﾗｹｯﾄ　防水型　ｾﾝｻｰ付　90×320×94	台	1.0	LGWC80290LE1同等品
ＬＥＤ照明器具　S	LED31.9W　埋込型　40形　下面開放　W220	台	1.0	公共施設型番：LRS3-4-48
ＬＥＤ照明器具　T	LED31.9W　埋込型　40形　下面開放　W300	台	1.0	埋込XFX450VENLE9同等品
ＬＥＤ照明器具　V	LED16.3W　直付型　40形　W150	台	2.0	公共施設型番：LSS9-4-23
3）電灯設備撤去				
照明器具撤去　A	FHF63W×1　下面開放　W300	台	34.0	
照明器具撤去　B	FL40W×1　下面開放	台	8.0	
照明器具撤去　C	FL40W×1　富士型	台	1.0	
照明器具撤去　E	FL110W×2　富士型	台	1.0	
照明器具撤去　G	FL20W×2　下面開放	台	7.0	
照明器具撤去　J	FHP32W×4　埋込(下面ｱｸﾘﾙ)	台	4.0	
照明器具撤去　K	FPL36W×3　埋込(ｱｸﾘﾙ)	台	1.0	
照明器具撤去　M	FPL36W×2　埋込(ｱｸﾘﾙ)	台	1.0	
照明器具撤去　O	IL40W×1　ﾐﾗｰﾗｲﾄ	台	2.0	
照明器具撤去　P	FL20W×1　流し元灯	台	1.0	
照明器具撤去　R	FPL18W×1　ﾌﾞﾗｹｯﾄ　防水型	台	1.0	
照明器具撤去　S	FHF32W×2　下面開放	台	1.0	
照明器具撤去　T	FL40W×2　下面開放	台	1.0	
照明器具撤去　V	FL40W×1　ﾄﾗﾌ型	台	2.0	
4）産業廃棄物処理				
発生材積込み	コンクリート類　人力　混合がら	m3	2.7	
発生材積込み	ボード・木材類　人力　蛍光管　直管	m3	0.2	
発生材積込み	ボード・木材類　人力　蛍光管　直管以外	m3	0.1	
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック2.0t	台	2.0	混合がら
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック2.0t	台	1.0	蛍光管　直管、蛍光管　直管以外
産業廃棄物処理費	中間処理　混合がら	m3	2.7	
産業廃棄物処理費	中間処理　蛍光管　直管	kg	13.2	
産業廃棄物処理費	中間処理　蛍光管　直管以外	kg	2.2	
（2）庁舎２階照明器具改修工事				

工 事 数 量 表

工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規　　格	単位	数　　量	備　　考
1）仮設工事				
養生（内部改修）	RC　SRC造　事務所ビル	m2	55.5	
内部足場（脚立足場）	1800mm級　階高4m以下　2箇月	m2	37.0	
2）電灯設備新設				
ＬＥＤ照明器具　A	LED31.9W　埋込型　40形　下面開放　W300	台	12.0	埋込XFX450VENLE9同等品
ＬＥＤ照明器具　C	LED16.3W　直付型　40形　W150	台	4.0	公共施設型番：LSS9-4-23
ＬＥＤ照明器具　D	LED31.9W　直付型　40形　W230	台	2.0	公共施設型番：LSS10-4-48
ＬＥＤ照明器具　F	LED16.3W　直付型　反射笠付　40形　W80	台	10.0	直付XFX420KENLE9同等品
ＬＥＤ照明器具　H	LED31.9W　直付型　40形　黒板灯	台	2.0	公共施設型番：LSS13-4-45
ＬＥＤ照明器具　I	LED31.9W　直付型　40形　ｽﾘﾑﾍﾞｰｽ　W250	台	8.0	公共施設型番：LSS6-4-48
ＬＥＤ照明器具　L	LED7.7W　ﾌﾞﾗｹｯﾄ　Φ145	台	6.0	XLGE5011CE1同等品
ＬＥＤ照明器具　Q	LED13.9W　壁付型　20形　非常用照明器具(階段灯)	台	2.0	NNCF22115JLE9同等品
3）電灯設備撤去				
照明器具撤去　A	FHF63W×1　下面開放　W300	台	12.0	
照明器具撤去　C	FL40W×1　富士型	台	4.0	
照明器具撤去　D	FL40W×2　富士型	台	2.0	
照明器具撤去　F	FL40W×1　笠付	台	10.0	
照明器具撤去　H	FLR40W×1　直付黒板灯	台	2.0	
照明器具撤去　I	FHF63W×1　直付型　W250	台	8.0	
照明器具撤去　L	FPL27W×1　ﾌﾞﾗｹｯﾄ	台	6.0	
照明器具撤去　Q	FL20W×1　階段通路誘導灯(ﾌﾞﾗｹｯﾄ)	台	2.0	
4）産業廃棄物処理				
発生材積込み	コンクリート類　人力　混合がら	m3	1.7	
発生材積込み	ボード・木材類　人力　蛍光管　直管	m3	0.2	
発生材積込み	ボード・木材類　人力　蛍光管　直管以外	m3	0.1	
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック2.0t	台	1.0	混合がら
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック2.0t	台	1.0	蛍光管　直管、蛍光管　直管以外
産業廃棄物処理費	中間処理　混合がら	m3	1.7	
産業廃棄物処理費	中間処理　蛍光管　直管	kg	9.3	
産業廃棄物処理費	中間処理　蛍光管　直管以外	kg	0.6	
（3）外倉庫等照明器具改修工事				
1）仮設工事				
養生（内部改修）	RC　SRC造　事務所ビル	m2	15.0	
内部足場（脚立足場）	1800mm級　階高4m以下　2箇月	m2	10.0	
2）電灯設備新設				
ＬＥＤ照明器具　B	LED16.3W　埋込型　40形　下面開放　W190	台	1.0	埋込XFX420RENLE9同等品
ＬＥＤ照明器具　F	LED16.3W　直付型　反射笠付　40形　W80	台	4.0	直付XFX420KENLE9同等品
ＬＥＤ照明器具　N	LED27.6W　ｼｰﾘﾝｸﾞﾗｲﾄ　□500	台	1.0	LGC25120同等品
ＬＥＤ照明器具　U	LED16.3W　直付型　40形　片反射	台	2.0	公共施設型番：LSS1-4-23＋FSK41020同等品
ＬＥＤ照明器具　R	LED6.1W　ﾌﾞﾗｹｯﾄ　防水型　ｾﾝｻｰ付　90×320×94	台	2.0	LGWC80290LE1同等品
ＬＥＤ照明器具　W	LED31.9W　直付型　反射笠付　40形　W80	台	4.0	直付XFX450KENLE9同等品
3）電灯設備撤去				
照明器具撤去　B	FL40W×1　下面開放	台	1.0	
照明器具撤去　F	FL40W×1　笠付	台	4.0	

工 事 数 量 表

工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規　　格	単位	数　　量	備　　考
照明器具撤去　N	FL20W×3　直付	台	1.0	
照明器具撤去　U	FL40W×1　片反射笠	台	2.0	
照明器具撤去　R	FPL18W×1　ﾌﾞﾗｹｯﾄ　防水型	台	2.0	
照明器具撤去　W	FHF32W×2　反射笠付	台	4.0	
4）産業廃棄物処理				
発生材積込み	コンクリート類　人力　混合がら	m3	0.6	
発生材積込み	ボード・木材類　人力　蛍光管　直管	m3	0.1	
発生材積込み	ボード・木材類　人力　蛍光管　直管以外	m3	0.1	
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック2.0t	台	1.0	混合がら
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック2.0t	台	1.0	蛍光管　直管、蛍光管　直管以外
産業廃棄物処理費	中間処理　混合がら	m3	0.6	
産業廃棄物処理費	中間処理　蛍光管　直管	kg	3.7	
産業廃棄物処理費	中間処理　蛍光管　直管以外	kg	0.2	